

[普及事項]

新技術名：ブドウ‘ノースレッド’に対するフラスター液剤の花振るい防止効果

(平成7～11年)

研究機関名 果樹試験場天王分場

担当者 小野 早人・柴田雄喜・他3名

[要約]

ブドウ‘ノースレッド’に対してフラスター液剤500倍液を展開葉7～10枚期の新梢および花穂へ散布することにより着粒数が増加し、花振るい防止効果がみられ、収穫果の果房重の増加と安定生産に結びつく。

[ねらい]

ブドウ‘ノースレッド’は本県主要品種‘キャンベル・アーリー’より成熟が7～10日ほど早く、食味の優れた、赤色の優良品種であるが、年によって花振るいが生じ結実が不安定である。そこで結実改善を図るために、フラスター液剤を新梢および花穂に散布して着粒数や果実品質への影響を検討した。

[技術の内容・特徴]

1. フラスター液剤500倍を展開葉7～10枚期の‘ノースレッド’の新梢および花穂への散布により、着粒数は増加し、着粒密度を高め、結実が確保される。
2. 果実品質では、1粒重、着色、糖度、酒石酸含量および食味とも、無処理区と大差なく、品質への影響は明瞭でなかった。
3. 新梢生育は散布により新梢の伸長が抑制される。

[普及対象範囲]

全県のブドウ栽培地域

[普及・参考上の留意事項]

1. フラスター液剤500倍液はやや強めの新梢へ処理する。
2. 着粒数の増加に伴い果粒が密着となり、収穫期の気象条件によっては裂果を生ずることがあるので、着粒数が多い場合、摘粒等を行い、過密着を防ぐ。
3. 本剤は現在未登録であるが平成12年6月に認可される予定である。その適正使用基準は使用時期が展開葉8～10枚時、使用濃度は500倍、使用回数は1回である。

[具体的なデータ等]

第1表 平均果房重および果房重分布(1997年)

処理区	調査 房数	平均果 房重(g)	果房重分布 (%)				200g以上 (%)
			~149g	150~199	200~249	250~	
展葉 7~8枚	1108	168.0	34.9	43.6	17.9	3.6	21.5
9~10	952	172.4	32.1	41.1	21.9	4.6	26.8
11~12	544	161.7	43.0	36.6	16.0	4.4	20.4
無処理	690	138.1	66.8	27.8	4.6	0.8	5.4

第2表 果実品質(1997年)

処理区	調査 房数	果房 長(cm)	着粒数 (個)	着粒 ² 密度	1粒重 (g)	着色	糖度 (%)	酒石酸 (g/100mL)
展葉 7~8枚	51	12.5	42.4	5.4	4.4	良~やや淡	17.8	0.35
9~10	50	12.4	45.3	5.8	4.4	"	17.3	0.33
11~12	45	12.7	38.5	4.7	4.5	"	17.3	0.38
無処理	66	12.5	32.2	3.7	4.5	良	17.9	0.37

²着粒密度：果軸長1cmあたり着粒数

第3表 平均果房重および果房重分布(1999年)

処理区	調査 房数	平均果 房重(g)	果房重分布 (%)				200g以上 (%)
			~149g	150~199	200~249	250~	
500倍	97	222.8	6.1	26.6	41.6	25.7	67.3
800倍	147	196.3	13.3	44.0	32.2	10.5	42.7
無処理	126	168.1	34.6	42.3	17.3	5.8	23.1

処理時期は展開葉9枚期

第4表 果実品質(1999年)

処理区	果房 重(g)	果房 長(cm)	着粒数 (個)	着粒 ^x 密度	1粒重 (g)	着色 ^y	裂果 粒率	糖度 (%)	酒石酸 (g/100mL)
500倍	223	12.9	50.6	6.0	4.7	3.7	47.5	18.0	0.32
800倍	196	12.3	45.2	5.6	4.6	4.1	48.3	18.5	0.31
無処理	168	12.2	35.2	4.0	4.9	3.7	23.8	17.2	0.35

^y着色：1(緑)、2(淡紅)、3(淡鮮紅)、4(鮮紅)、5(濃鮮紅)

[発表文献等]

なし